

近畿「子どもの水辺」交流会



特別企画 ダイオウイカを徹底解説！

日本海で捕獲された約5mのダイオウイカに触れてみたり、ダイオウイカの隣に寝そべて大きさをはかたりするなど、リアルな深海生物(ダイオウイカ)を体感しました。



兵庫県立人と自然の博物館 三橋 主任研究員に解説していただきました。



交流会を終えたみんなの感想

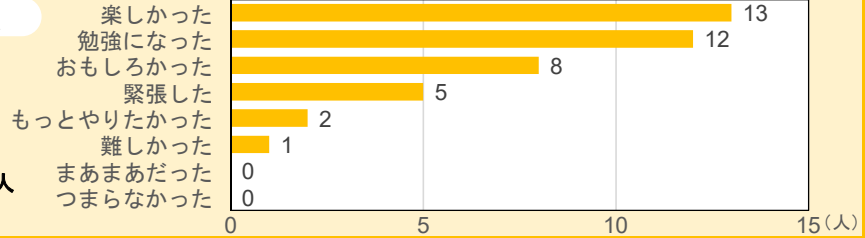
子どもたちの声

- 色々とユニークな活動をしていることを知り、興味をもちました
- 石の宝石を見つけたいと思った
- 質問をしたり質問に答えたりして、色々な友だちができそうだった
- 色々な水辺のことが分かった
- 大きな声で発表できて嬉しかった
- 難しかったけど、次は頑張って発表したい
- これからも活動を続けて頑張っしてほしい
- グループの活動内容や意見の交流ができるととても良い取組だと思う

観覧者の声

- 司会の方が子供達の話のうまくひき出していたので、楽しく見学できた
- 子供達が自分達で考え発表をしており、すごくいい経験になった
- 同じと思っていた活動がそれぞれ異なり、とてもおもしろかった
- 各団体が充実した取り組みをしていて、感心した
- もっと色々な所にも目を向けて経験をつんでいってほしいと思った
- 今後の自分達の活動のヒントがいっぱいあった

参加者の感想



開催結果報告

近畿「子どもの水辺」交流会は、子どもたちに身近な水辺活動を広く発信してもらい、上下流・府県間を超えて「水辺」に関わる近畿の皆さんの交流を深め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりをつくり、水辺を守り育てることを目指しています。

2023年2月18日(土)10:30~15:00 兵庫県立人と自然の博物館

主催：ひょうご子どもの水辺交流会

共催：近畿「子どもの水辺」交流協議会/兵庫県立人と自然の博物館

Special Thanks 本交流会は、下記団体より活動資金の支援を頂いて開催しました。

財団法人兵庫県青少年本部
「ひょうご子ども・若者応援団事業」

しみん基金・KOBE 助成事業

次の開催地は、大阪府！

日時：2023年8月20日(日) 会場：大阪ふれあいの水辺

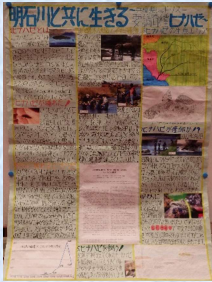
大阪の大川をフィールドにして、実際に水辺に触れ、近畿の子どもたちみんなが交流を深めましょう！

活動発表会

Aグループ【コーディネーター：田中実知世さん】

①玉ーアarium【兵庫県】

兵庫県レッドリストの要調査種であるヒナハゼを捕獲しました。ヒナハゼが産卵し、明石川に定着している可能性がわかりました。



②柏原英吾【京都府】

水車が好きで、水車の仕組みや種類を調べたり、自分でも、水車を1年かけて制作しました。



③びわこ豊穡の郷目田レジャー【滋賀県】

目田川にホタルが自生するよう、ごみ拾いなど環境が良くなるよう、色々な活動をしています。



④蒲生野考現倶楽部【滋賀県】

1年通して、日野川で生きもの探しや源流がある綿貫山の登山、琵琶湖でカヌーや地引き網体験など、さまざまな体験をしました。



⑤木津川川が団【京都府】

アカハライモリやスッポンを実際に飼ってみて、育て方をまとめたり、モクスガニやコクチバスを食べてみました。



⑥高槻市立第六中学校自然観察同好会【大阪府】

淀川などで、水質調査やごみ拾い、外来生物の駆除など、環境保全活動を行っています。



みんなの意見

「人」が「自然」からもらっていることは何？

- ・水と野菜 ・食べ物 ・空気
- ・風（風力発電） ・太陽光発電
- ・太陽 ・土 ・地熱発電
- ・お肉 ・森 ・木
- ・癒やし（心が落ち着く）
- ・けいけん ・ちしき
- ・生物 ・命 ・はちみつ
- ・ホネ ・微生物
- ・バイオマス発電
- ・全部のはじまり ・植物
- ・石（水きりで遊んでいる）
- ・時間（自然ができた）
- ・電気 ・木の実 ・くだ物
- ・すべてのはじまり など

「人」から「自然」にできることは何？

- ・外来種をとる ・活動の継続
- ・目田川でゴミ拾い
- ・魚を守る ・庭の木への水やり
- ・SDGsの行動 ・川をきれいに
- ・生物にエサをやる ・水槽の掃除
- ・生物のすみかを作る
- ・珊瑚の白化現象 ・環境破壊
- ・木を切り、生物のすみかを奪う
- ・今の自然の状況を知ってもらう
- ・食品ロスを減らす
- ・物を捨てて、燃やして二酸化炭素を増やす ・虫のお手洗い
- ・絶滅危惧種の保護
- ・草を植えてCO2を減らす
- ・5Rに取組む など

Bグループ【コーディネーター：辰谷直子さん】

①アシレンジャー【兵庫県】

芦屋川上流でモヅクガニ、アユ、ウナギなどを見つけてきました。宝石のようにきれいな石も集めています！



②日野川エコスクール【滋賀県】

日野川の源流、上流、中流、下流の生息する生き物や川の透明度などを詳しく調べました。川への感謝と水を汚さない工夫が必要ということがわかりました。



③れいんぼう☆キッズ【兵庫県】

小川が流れる里山で、カワムツを釣ったり、カートンドックを作ったり、色々な活動をしました。



④川とあそぼう「大和川クラブ」【大阪府】

大和川で遊び、自然を守る活動をする中で、ハリガネムシの一生を調べて、生態系を堪能しました。



⑤自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ【兵庫県】

ヒメボタルを増やすために、竹圍いで乾燥防止や灯りの進入を防ぐ取組などを行いました。発表ではクイズ形式で楽しく、わかりやすく説明しました。



「人と自然の共生」には、「人」と「自然」の関係を知ることが必要です。そして、交流会に参加したみんなの活動を継続し、広げていくことが大切です。